

## 平成30年度 地方創生推進交付金 人を受け入れ、巻き込み、認め合うまち奥出雲づくり ～奥出雲町まち・ひと・しごとセンター事業～

移住定住を促進するため、空き家バンク制度を活用した住まいのサポート事業と無料職業紹介所の開設による仕事のサポート事業を行っている。また、UIターン者を含めた町内でのまちづくり活動の実践に繋げるため学びの場を提供する人材育成事業を行っている。これらの相談対応をワンストップで行うため「まち・ひと・しごとセンター奥サポ」を平成29年8月に開設し、定住支援、仕事支援、人材育成支援に取り組んでいる。

### ■暮らしのサポート

奥出雲町空き家バンク制度（空き家の紹介とマッチング）

### ■まちのハローワーク

奥出雲町無料職業紹介所  
求人求職マッチング事業

### ■つなぎつなげるサポート

奥出雲仕事塾  
スキルアップセミナー

### ■UIターンフェア等での移住定住相談



# 1. 住まいサポート：空き家バンク制度の運営

(空き家利活用と移住定住の促進)

目 的	(1) 空き家バンク制度
実施した内容	町内での定住希望者に対し、「空き家バンク制度」を活用した住宅を斡旋する。多様なニーズに対応するため、専門的な不動産知識を習得し、より機動的な「空き家バンク制度」の運営を図った。
事業実施した成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■空き家バンクの登録物件数 23 件、利用登録者数 47 人、マッチング 10 件 島根県宅地建物取引協会と連携したスムーズな運用</li> <li>■センターを通じた UI ターン者数：14 組 27 人 センター開設により延べ 24 組 47 人の UI ターン者を受入れ</li> <li>■町全体の UI ターン者数は 252 人（県統計より）</li> <li>■UI ターン相談会や子育て中の方の就職相談会を実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>各種町内相談会：7 月奥サポ就職相談会 2 名</li> <li>8 月お盆企画：3 名</li> <li>8 月子育て就職相談会：6 名</li> <li>10 月子育て就職相談会：7 名</li> <li>1 月奥サポ就職相談会：2 名</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: right;">合計 20 名</p>
課題・今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>■延べ空き家バンク登録物件 132 件に対し、取り壊された物件を除いてマッチングが成立していない物件が約 60 件。安価な一戸建て賃貸住宅のニーズはあるが、物件が対応できず、マッチングが進まない状況である。物件の掘り起こしについて、「自治会向け空き家バンク登録奨励金事業」において募集をおこなっているが効果が薄い。家が空き家になったタイミングで所有者に空き家バンクを周知する必要がある。</li> <li>■町出身者会や自治会に向けて「空き家バンク制度」の周知を図るとともに、所有者が帰省されたタイミングで空き家相談会と UI ターン相談会を開催する。相談会は、平成 29 年度から実施しているが町内で実施するには集客に課題がある。</li> <li>■これまで UI ターンされた方の交流の場を提供し、移住者のサポート体制を整備する。</li> </ul>


R1 取組み状況

- 県外 UI ターンフェアの実施（東京 7 月 11 月・大阪 9 月・広島 10 月）  
地域づくり推進課・健康福祉課・農業振興課・結婚子育て応援課連携
- 各種町内相談会  
結婚子育てコンシェルジュと連携  
子育て支援センターで実施  
お盆の帰省時期に空き家相談・U ターン相談会
- UI ターン者にニーズのある農業についてお試し暮らしツアーを実施し、奥出雲暮らし体験の場を提供する。
- UI ターンフェア来場者数：184 組（R1 年度より他課連携）  
〔UI ターンフェアでの様子〕



## 2. しごとサポート事業：無料職業紹介所事業

(町内の求人求職マッチング支援)

目 的	(1) 無料職業紹介所の開設
実施した内容 (H30)	<p>まち・ひと・しごとセンター「奥サポ」を窓口とした無料職業紹介所を開設。 町内在住者やU I ターン希望者に対し仕事の斡旋を行った。</p>
事業実施した成果	<p>■無料職業紹介所を介したマッチングが8件（うち町内者3名、I ターン者5名）であった。町内企業チラシを作成、求人サイトへ企業の魅力と合わせて掲載することにより、求職者の目に留まりやすい求人票作成のサポートを行った。</p> <p>■町内郵便局と連携し、求職情報や移住定住情報の掲示を9郵便局とサンクスと横田蔵市に設置してあるスタンドを活用し定期的に情報発信した。</p> <p>■求人登録者数：53件    ■求職登録者数：32件    ■マッチング数：8件</p>  <p>[無料職業紹介所における町内企業の魅力発信]</p>
課題・今後の取組み	<p>町内企業は人材不足であるが、求職者の半数が50代以上の方で、求職者の年齢層が高い状況である。また、マッチングは町内者とI ターン者で成立しており、U ターン者に情報が届いていない、もしくは希望する職業がないと推測する。若者に向けてどのように情報を届けるのか検討していく必要がある。U ターン者をターゲットとし、学生登録者への情報提供や帰省するタイミングでの就職相談会を実施する。</p>
R1 取組み状況	<p>■結婚子育てコンシェルジュと連携した仕事相談会の実施や、子育て支援センターのイベントに合わせて就職相談会の実施。帰省時期（お盆）にU ターン相談会の実施。</p> <p>■成人式に合わせて、学生登録者の募集。企業紹介情報誌配布。</p> <p>■町内企業紹介チラシの作成。</p> <p>■くらしまねっとへの求人掲載サポートの実施</p> <p>■移住支援金対象企業募集説明会の実施・登録サポート</p>
目 的	(2) 起業・創業支援講座の開催（奥出雲仕事塾の開催）
実施した内容 (H30)	<p>町内での起業・創業、第二創業等を支援するため、専門家を招きプラン構築と経営計画策定など個別伴走型の支援を行う仕事塾（講座）を開催した。</p>

	<p>仕事塾では起業創業コース・事業成長コースの2コースを設定し開催</p>
<p>事業実施した成果</p>	<p>■6名が参加し、専門家による塾のほか、先行事例とし「西粟倉村」のローカルベンチャーや起業された方の事例・実体験、地域の可能性とビジネスについての取組みを現地で学び、起業・創業等にかかるマインドやノウハウを学んだ。</p> <p>■H30年度の奥出雲仕事塾の参加者からは、1名がNPO法人を設立され、新たに起業された。仕事塾の実施により起業・創業される方や第二創業をされる事業者が生まれ「新たな産業づくり」としての業事業成果が出てきており、起業意識や第二創業への気運が高まってきている。</p> <p>■4年間トータル受講終了者数：45人うち      起業創業者数：6組（8人） 第二創業：5社</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">[奥出雲仕事塾 2018 の様子]</p>
<p>課題・今後の取組み</p>	<p>■実施から4年が経過し、起業・創業をしたい、新たなことにチャレンジしたいと思う人材が出尽くした感があり、起業をしてみたい、新しいことにチャレンジしたい人材の掘り起こしが課題となっている。</p> <p>■人材育成講座、仕事塾OB・OGのコミュニティネットワークをつくり、参加者同士の交流や情報共有を図る場を設け、繋がりを強化し、ノウハウの継承・蓄積を進め、起業・創業等へ繋げていく。</p>
<p>R1取組み状況</p>	<p>■令和元年10月～3月 全7回 ・平日夜コース、週末朝コースの2コース      「～スキマ時間で始めてみよう～おくいずもをつくる！！みんなのチャレンジスクール」開催</p> <p>【目的・内容】      自分の「特技を生かして何かやりたい」「仲間で何かやりたい」「やってみたいことがあるけど、どう始めていいかわからない」という方々の「やってみたい」を実現できるプログラムに変更し、新たな人材の掘り起こしをしながら、「起業のたまご」「小さな起業」を支援していく。</p>



### 3. 人材育成サポート事業：地域課題解決の活動支援

目的	(1) 地域活動組織育成事業
実施した内容 (H30)	<p>小さな拠点づくりの取組みが本格的にはじまり、地域の支援者・実践者として地域のハブとなり、活動実践に向け、自律的に動く仕組みづくりに向けた伴走支援を行うため、「地域づくり人養成講座」を実施。</p> <p>地域づくりのプレーヤー実践者ではなく、地域づくりのハブ・支援者を養成する講座とし、事例ケースを交えながら、分析・計画・実践までの手法を学び地域づくりに必要な支援・実践の力を身につける連続講座とした。</p>
事業実施した成果	<p>■全4回開催、小さな拠点づくりに取組む地区の方を中心に延べ91人が参加</p> <p>■H31年3月に養成講座の集大成としてアクションプラン発表会を開催し、受講者、参加者併せて65名が参加。</p> <p>地域の現状、課題、課題に対する取組み、今後のアクションプランを発表し、地域づくり（小さな拠点づくり）の機運の醸成と新たな地域づくり（小さな拠点づくり）の創出の場となった。</p> <div data-bbox="448 920 1474 1144" data-label="Image"> </div> <p>[地域づくりアクション発表会の様子]</p>
課題・今後の取組み	<p>■地域づくりをとおして地域が、みんなが元気になる仕組みづくりと若者と女性の参画</p> <p>■小さな拠点づくりの取組みが各地区で進む中、問題・課題の抽出が終わり、各地区とも実践活動のフェーズに入るため、実践活動のはじめ方や進め方を地域の方を巻き込みながらどのようにして取り組むかが課題となる。</p>
R1 取組み状況	<p>■令和元年9月～2月 全5回</p> <p>「地域づくり人材養成講座 好きなこと×地域にいいことでまちを元気にする地域づくり塾」開催</p> <p>【目的・内容】</p> <p>地域リーダーの育成については、小さな拠点づくりの取組みが各地区で進む中、問題・課題の抽出が終わり、各地区とも実践活動へ移行していくフェーズに入ってきている。今年度は、実際に活動するための心構えを学び、「好きなこと」と「地域にいいこと」を掛け合わせて、やりたいことやマイプラン、プロジェクトを小さく実践する、実現するチャレンジを行う。</p>

## 4. まち・ひと・しごとセンター整備事業

目 的	(1) まち・ひと・しごとセンター「奥サポ」運営事業
実施した内容 (H30)	奥出雲サイクリングターミナル内に「まち・ひと・しごとセンター」をH29, 8月に開設。まちひとしごとセンターの運営について、専門アドバイザーからの指導助言を仰ぎ、PDCA サイクルを実施。専門指導員の配置、臨時職員の配置、地域おこし協力隊員を配置し運営に当たった。
事業実施した成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ H30 年度は約 1,500 人の方が利用。相談しやすい場所ができたことで、特に無料職業紹介所については求人・求職者の登録が伸びた。</li> <li>■ 移住定住対策について関係する課との情報交換、UI ターンフェアへの連携参加、平成 31 年度実施に向け、結婚子育てコンシェルジュとの連携企画会議を実施した。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ センターは希望があれば、休日の対応をおこなっているが、基本的に土日祝を閉めている。サイクリングターミナル内にあることから、休日の訪問も想定されるため、運用について検討する必要がある。</li> <li>■ 運営スタッフを専任スタッフとするため、さらに専門知識を有した人材を配置し、安定した運営の形態について検討が必要であることから、H31.4 から空き家の専任スタッフ 1 名と地域おこし協力隊 1 名を配置した。</li> </ul>
R1 取組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 専門支援員として仕事のサポート人員（嘱託職員 1 名）専門支援員として空き家バンクの運営に当たる人員を配置（嘱託職員 1 名）地域おこし協力隊 1 名を配置し移住定住支援と定住情報発信を行っている。</li> <li>■ UI ターンフェア等への参加による移住相談対応</li> </ul>

本事業における 重要業績評価指標（K P I）	本事業計画策定 時(H29)	H29 事業終了時 (H30.3)	H30 事業終了時 (H31.3)	目標年度 (R2.3)
	指標値	実績値	実績値	目標値
センターを介したUIター ン者数(延べ)	0	20 (20)	47 (27)	135
空き家マッチング件数 (延べ)	45	54 (9)	64 (10)	75
地域課題解決プラン実 施数(延べ)	7	12 (5)	16 (4)	16
センターを介した無料職 業マッチング件数(延べ)	0	11 (11)	19 (8)	25

※目標・実績値は延べ数のため整数は延べ数字、( ) 内は当該年度実績値